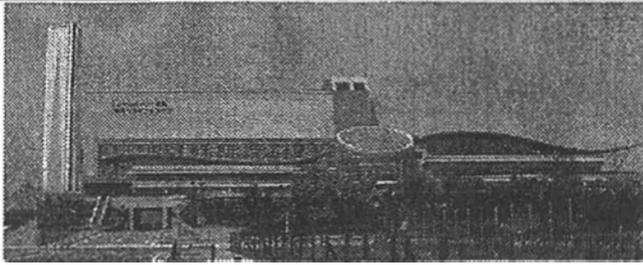


エコライフりんかい

発行/エコネットふくおか



『臨海リサイクルプラザ』は
市民の手で作
り支える施設です



使用済み紙おむつを 100%リサイクル

「地球環境」「高齢福祉社会」をキーワードに、紙おむつを通して資源循環社会の形成を目指しているトータルケア・システム株式会社を昨年訪問。当情報紙第36号(2004.3)で紹介したが、この度、日本初の紙おむつ再生工場“ラブ・フォレスト大牟田”が完成。当初から研究、技術指導に関わってきた福岡大学工学部の松藤康司教授にご同行いただき、大牟田エコタウンを訪れた。

★臭いゼロ！紙おむつ to 紙おむつ工場稼働

工場に近づくとつれ、悪臭への懸念はすぐに払拭された。回収された使用済み紙おむつの搬入口も、内部を引圧にすることと、プラズマ脱臭装置により、信じられない程臭いが気にならない。

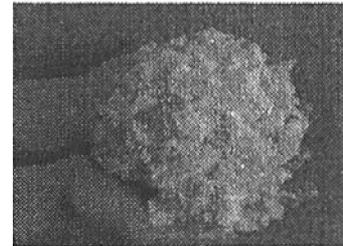
塩化カルシウムを利用して、糞尿の水分を吸収したポリマーとパルプを分離した後は「クリーニング屋さんと同じですよ」と工場を案内してくれた田嶋高基工場長。

水洗い、脱水を繰り返すうちに新品と比べても遜色のないパルプがベルトコンベアに乗って流れてくる。手でつまんで感触、臭い、色などを確認したが“使用済み紙おむつ”のイメージは全くな

い。このシステムで全てのパーツはリサイクルされ、特に紙おむつは数回繰り返し再生が可能になる。

★愛される再生紙おむつを目指して

現在、家庭から出される紙おむつは一般ごみとして焼却処理されている。法が改正され、紙おむ



無臭で真っ白な上質パルプ

つもペットボトルやびんのようにリサイクル指定物として認定されれば、病院や施設からのみでなく、使用量の

7割を占める各家庭からの回収も可能になる。今後再生紙おむつを製品化し市場に出していくためにも

- ・ 回収ルートの確立
- ・ 再生率の向上
- ・ コストの低減化
- ・ 生活に密着した利用しやすい製品の開発

などの問題をクリアすることが必要だ。

また、介護に直接かかわることの多い女性の理解と応援も大切。理解の手始めに工場の見学を勧めたい。(見学問い合わせ TEL: 092-433-1033)

★福岡発の再生紙おむつを世界に！

秋には、より良い製品化を目指して“おむつ”に代わる新しいネーミングや試作品の発表、また土壌改良剤を利用したパルプに代わる綿の育成などの企画もある。「是非このリサイクルシステムを福岡発で全国に、世界に広げていきたい」と福祉、介護に長く携わってきた長 武志社長の夢は広がる。

全てのパーツをリサイクル

